

## 第6学年2組 国語科学習指導案

平成24年5月29日（火）第5校時

授業者 教諭

- 1 単元名 相手の意図を聞き取り、自分の主張を伝えよう  
「学級討論会をしよう」

### 2 単元の目標

- ・討論会の意図や方法を知り、進んで参加しようとする。（国語への関心・意欲・態度）
- ・討論会の話題に沿って、話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることができる。（聞く能力）
- ・互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うことができる。（話す・聞く能力）
- ・討論会における言葉の使い方などを理解することができる。（言語についての知識・理解・技能）

### 3 単元について

本単元は、学級討論会をすることで、目的や意図に応じ、考えたことや伝えたいことなどを的確に話す力や、相手の意図をとらえながら聞く力を育てる単元である。討論とは、一つ的话题に対して意見を出し合い、議論を戦わせることであり、相手を説得することを目的として行われる。つまり、一方的に自分の意見を主張するだけでは、議論として成立しない。話し手は、相手の主張を聞き、相手につながるように工夫しながら、自分の主張を納得させるよう話を展開していく必要がある。また、聞き手が、相手の意図をとらえ、自分の意見と比べながら聞き、考えをまとめていくことも大切である。最高学年として、下級生をまとめ学校を動かしていく立場にあるこの時期の児童に、学級討論会を経験させ、相手とつながりながら話したり聞いたりすることの大切さを学ばせることは大変意味があると考えられる。

### 4 児童について

漢字の学習や音読、自分の考えなどを書く学習には、規律ある態度で、熱心に取り組むことができる。読書好きな児童も多く、想像力豊かに物語を読み取ることもできる。しかし、話す学習になると消極的な児童が多く、発表する児童が限られている。別のことに気を取られ、友達の発言を集中して聞けない児童もいる。その点を克服するために、4月から、朝のスピーチや授業中に発表する時は姿勢を正し、はっきり発音するよう心がけること、聞き手は話し手にまなざしを向け、自分の感想をもちながら聞くこと、班での話し合いは全員が意見を述べ合うこと、などの指導を意図的に行ってきた。その結果、スピーチのように一人で話す場面では、話す内容や言葉遣いを工夫できるようになってきたが、相手とのやりとりになるとまだうまく話せない状況になることも多い。相手の発言に自分の発言をつなげ、互いに伝え合い考えを高め合う力を、十分に身に付けさせていく必要がある。

### 5 指導について

ここでは、話題に対して、肯定か否定か自分の立場をはっきりさせ、話をさせていく。その際、結論を先に出し、その理由を後から話したり、適切な資料、具体例を示しながら話したりすることで、伝えたいことがより明確になり、説得力のある話し方となることを押さえる。どの児童も意見を言えるように、あらかじめ自分の考えを書き、グループ内で役割分担をし、資料を準備する時間を確保する。聞き手には、共通点や相違点を考えながら聞いたり、示された資料や具体例と照らし合わせながら聞いたりすることを指導し、相手の意図をとらえながら聞く力を育てたい。また、討論の流れを聞くグループも作り、どちらのグループがより説得力があるか、議論を評価しながら聞く態度と能力も育てたい。筋道を立てて考え、目的や意図に応じた的確に話したり、話し手の意図をとらえながら聞いたりするこれらの学習は、これから成長し、やがて社会に出て行く児童の未来につながる、大切な学習であると考えられる。

## 6 指導計画（9時間配当）

- 第1次 討論会のねらいや準備，役割の分担を知る。（1時間）  
 討論会の進め方を理解する。（1時間）
- 第2次 討論会で話し合う話題を決め，役割分担をし，自分の考えを書く。（1時間）  
 グループごとに相談し，資料準備を行う。（1時間）
- 第3次 学級討論会を開く。（4時間 本時4／4）  
 「伝えにくいことを伝える」を読み，どのような伝え方をすればよいかについて考える。（1時間）

## 7 本時の目標

- ・自分の主張が聞き手に伝わりやすいように，具体例，資料を示しながら，適切な音量，速さで話すことができる。
- ・話し手の考えと自分の考えを比べながら聞くことができる。

## 8 準備物

ワークシート，板書用資料（めあて，討論会の流れ，振り返りの観点），司会進行表

## 9 本時の学習過程

学 習 活 動	支援（・）と評価（☆）
○本時のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">           4回目の学級討論会をしよう。            （前回までの討論会の反省を生かそう。）         </div> ○討論会の流れの確認をする。 ①初めの主張 ②質問とその答え ③最後の主張 ④まとめ ○討論会を行う。  ○最後の主張が終わったら，聞くグループは班ごとに相談し，どちらのグループがより説得力があったか発表する。  ○今日の学習を振り返り，「よかった点」「うまくいかなかった点」についてグループで話し合う。 ○感想や気付いたことなどを発表する。 ○これまで4回討論会を行い，どんな力が身に付いたか，学んだことを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に話し合ったグループの課題や個人の課題を振り返り，本時のめあてを明確にする。</li> <li>・討論会の流れを掲示しておく。</li> <li>・話し手，聞き手のポイントを確認しておく。</li> <li>・司会・計時は聞くグループから出す。</li> <li>・討論がしやすいように，あらかじめ机をコの字型に並べておく。</li> <li>・できるだけ原稿やメモを見ずに話したり聞いたりさせる。</li> <li>・肯定・否定グループがそれぞれ質問・応答した後，聞くグループにも質問をさせる。</li> <li>☆自分の主張が聞き手に伝わりやすいように話しているか。（発言・・・話す・聞く）</li> <li>☆話し手の主張を自分の考えと比べながら聞いているか。（ワークシート，発言・・・話す・聞く）</li> <li>・振り返りの観点に沿って振り返らせる。</li> <li>・学習したことの意義を考え，学んだことを日常生活でも生かしていくように助言する。</li> </ul>

## 10 授業の観点

- ・立場をはっきりとさせて話し合わせたことは，相手の発言を正確に聞いたり，自分の考えと比べながら発言したりすることに有効であったか。